

有限会社石井製作所

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2025年3月14日



大垣共立銀行とOKB総研は、有限会社石井製作所（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ.....	1
(1) 有限会社石井製作所の企業概要.....	1
(2) 有限会社石井製作所の事業概要.....	3
(3) 経営理念	9
(4) サステナビリティ.....	11
2. インパクトの特定	13
(1) バリューチェーン分析.....	13
(2) インパクトマッピング	13
(3) インパクトレーダーによるマッピング	14
(4) 特定したインパクト.....	15
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認	18
3. インパクトの評価	20
4. モニタリング.....	22
(1) 有限会社石井製作所におけるインパクトの管理体制	22
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	22

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 有限会社石井製作所の企業概要

企業名	有限会社石井製作所
創業	1968 年
設立	1983 年 10 月 1 日
代表者名	代表取締役 石井 信助
資本金	300 万円
従業員	32 人 (2024 年 12 月時点)
売上高	6.7 億円 (2024 年 5 月期)
事業拠点	本社 愛知県名古屋市西区丸野 2-188 第二工場 愛知県北名古屋市九之坪東ノ川 85
事業内容	鋼管・鋼材の加工、板金加工業、溶接業
関連会社	株式会社 ICube (持株会社)

<本社工場>



<沿革>

1968 年	石井製作所として創業
1983 年 10 月	有限会社石井製作所設立
1998 年 10 月	レーザー加工機導入
2000 年 9 月	東海豪雨被災のため水没
2002 年 9 月	西春町（現北名古屋市）に第二工場竣工
2021 年 6 月	現代表者が代表取締役役に就任
2022 年 1 月	SDGs 宣言
2023 年 4 月	ファイバーレーザー加工機導入

<第二工場 内部>



<本社（第三工場）>



(2) 有限会社石井製作所の事業概要

鋼管・鋼材の加工を主な事業としている。長年にわたり培った職人による各種鋼材曲げ加工、レーザー加工、そして溶接加工技術により独自のハイレベルな技術力と高品質を提供している。

(i) 事業内容

①曲げ加工

プレス加工機等の専用機械に金型を取り付けて加工する。金型はパンチ（上型）とダイ（下型）に分かれており、その間に材料を差し込んでパンチを下降させ、数トン～数千トンもの力を加えながらダイに押し付けることで、曲げ部に圧力をかけ変形させる。

高精度に曲げるため、硬さや引張り強さといった材料特性や板厚、金型形状、曲げ部に与える圧力など様々な要素を考慮し曲げ加工を行っている。

同社では、品質要求の厳しい自動車、コンピューター等デジタル機器、医療機器等の部品や建材など業種業界を問わず生産している。

加工は微細なものから、小径、精密、特殊、複雑、多工程な製品を得意とし、技術だけでなく長年培った経験も活かし顧客の要望に応じた精度の高い曲げ加工を実現している。

<曲げ加工の種類>

- 型曲げ

専用機械で上下 2 カ所の金型で材料を固定して力を加えて曲げる加工法。板状、あるいは棒状の材料を V 字型、U 字型、L 字型、Z 字型に曲げるのに適している。

- 折りたたみ

ラウンド形状の台座に材料を固定し、力を加えながらその外周に沿って折りたたむように曲げる。専用金型にて板の端部を U 字のように曲げ加工する。

- ロール曲げ

複数のローラーの間を通しながらその回転力で金属材料を曲げる。材料を型に固定せず、積極的に曲げ加工を行えるため、様々な断面形状を持つパーツを加工できる。



②レーザー加工

レーザーは非接触加工のため、他の切断方法のように変形やバリが発生することなく、対象物を傷めつけず破損することがない。レーザーの直径も非常に小さく、複雑な形状の板金製品を高精度・高品質に仕上げることができる。同社ではタレパン加工（金属板を打ち抜いて加工する技術）も選択でき素材や数量によっては、値打ちな加工方法を提供することが可能。

<主な素材>

- 鉄

機械部品、建築金物、店舗の看板等、様々な用途がある。鉄は最も広範囲の用途において使用される金属であり、用途別に最適な鉄素材を選び、繊細な形や曲線など自由な形で美しい仕上がりの加工ができる。

- ステンレス

錆びにくく錆びを防ぐためのメッキや塗装をせずに使用できるため、食器、厨房用品、建築材料、機械構造部品、医療機械器具、化学工業設備部品、航空機部品など広範囲な分野で使用されている。また、環境に対する社会の関心が高まるなか、100%リサイクル可能な材料として大変注目されている。

- アルミニウム

鉄の約 35%の比重であり軽量で、軟らかくて展性も高いなど加工し易い性質を持つ。軽量であることに加え溶接性や耐食性、成形性、熱伝導にも優れていることから、構造材料をはじめとして電気機器の筐体、自動車、鉄道車両、航空機、船舶、コンテナなどでも多く使用され、身近なところでは台所の器材・各種容器などに使用されている。

- 銅

銅は銀に次いで電気伝導性に優れ、さらに銀より格段に安価なため広く普及している。通常、銅のレーザー加工は断る業者が多い。その理由は 2 つあり「レーザー反射によって機械が壊れるリスクがある」「材料が高価で失敗すると損害が大きい」ということがある。しかし、同社では、銅の加工が問題なくできる「ファイバーレーザー加工機」を設備しており、板の厚みも 10mm まで加工が可能。仕上げを綺麗にするため、低品質なものになりがちなフルスピード・フルパワー切断ではなく、出力を少し抑えての切断で高品質な製品を製造できる。

- 真鍮

銅に亜鉛を加えた合金で、耐食性や加工性、熱伝導率、導電性などが高く加工に適している。切断や削りといった加工がし易いメリットを持ち合わせ、精密加工を通して機械部品としても使用される。また、性質上溶接による加工は難易度が高く、熱による影響の少ないレーザー加工との相性が良い。

＜ファイバーレーザー加工機＞

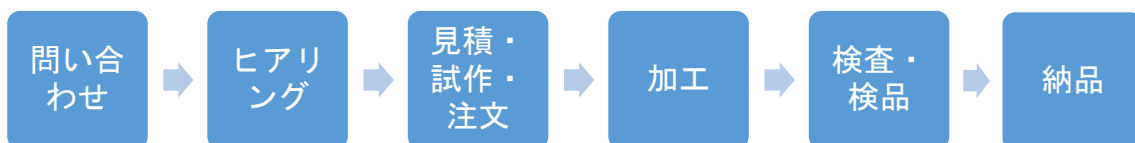
2023 年 4 月に業界でも注目度の高い最新ファイバーレーザー加工機を導入。これまでオペレーターが都度行っていたことを機械が行う。製品に応じた切断条件のバリエーションも広がり、製品の用途や顧客の求める品質レベルに応じて臨機応変に設定が可能。品質・生産性が一段と向上した。



③溶接加工

板金加工、構造物の製作に必要な不可欠な基盤技術。2 つ以上の部材を溶融・一体化させる作業で、部材を物理的に溶かすことで接合させる。部材の鉄やステンレス、アルミニウムなどによっても必要な溶接技術が違ってくる。制度の高い精密板金加工品には高い溶接技術が必要だが、同社は高い技術力で精密・高品質な製品を製造することができる。

（ii）事業の流れ



- 問い合わせ
オーダーメイド・単品・小ロットからリピート量産品まで幅広く対応。曲げ加工や金属加工についての問い合わせを受ける。
- ヒアリング
曲げたい部材やアールの寸法、希望の納期やロット数など、詳細をヒアリング。図面（手書き・簡単なものでも可）があればよりスムーズな対応が可能。
- 見積り・試作・注文
ヒアリング内容をもとに見積りを提出。試作が必要な場合は、別途試作見積りを提示。

- 加工
注文後製品の加工工程に入る。
- 検査・検品
加工完了後、製品の出来上がり公差を細かく確認。希望があれば、納品前に製品をチェックしてもらうことも可能。
- 納品
要望に応じた形で納品。全国発送も可能。

(iii) 最終製品例

同社が加工した部品を使った最終製品は多岐にわたる。その例としては、以下のような製品があげられる。

- ハンドリム（自走用車いすの後輪（駆動輪）の外側についている輪（リング））
手で車いすを動かすときに触る部分。ステンレス製とアルミ製がメインだが、樹脂でコーティングする場合もある。車いすバスケットや車いすテニスなど、アスリート向けにはアルミ製のハンドリムを使用する。車輪につながっているピンの位置は、オーダー内容によって変化する。身体や左右の腕の状態の違い、握って押すか手のひらで押すかなどの使い方によっても要望は異なる。

車いすの使用時間が長い人にとっては、機能性に加え、触り心地など感覚的なものも重要。同社のハンドリムは使い勝手が良く心地よいと高く評価されている。



- 小型ガス浸炭炉のパーツ

工場などで、金属を焼き入れするために使われる炉のパーツの製作・加工を行っている。同社が携わる炉は各メーカーなどの製造の場で活用されている。あまり人の目に触れることはないが、世の中に必要不可欠な装置を担っている。

下記製品であれば、円筒状の本体部分、本体端面に取り付く円形のフランジ、蓋を支えるヒンジ部分などを加工している。



- 澱粉散布機の打ち粉散布装置の金属板

同社が加工した金属板は、溶接、組み立てを経て、世の中に食品を届ける様々な機器の製造販売に繋がっている。



(iv) 同社の強み

- **ハイレベル・ハイクオリティ**
短納期・ローコストにこだわらず、常に顧客の要望に寄り添い高品質な製品を製造する。
曲げ加工・レーザー加工・溶接加工をすべて行っているところは少ない。
極めて短納期のニーズに対しても十分な品質で応えられる技術力と対応力、顧客イメージを具現化できる力がある。
- **小ロットの発注に対応**
小ロット（1 個～）・多品種・多量生産など、幅広くスピーディーに対応する。
- **最新鋭設備の導入**
高度に多様化する顧客の要望に応えられるように、最新の設備を導入している。
- **全国へ発送**
加工した製品は日本全国に発送可能。国内であれば、どんな要望でも応えられるよう体制を整えている。
- **アルミ・銅・真鍮も対応**
アルミ、銅、真鍮のレーザー切断加工が出来る。アルミは 30mm、銅は 10mm、真鍮は 12mm まで加工が可能。
- **取引先は 400 社以上**
長年の鋼材業のノウハウとメーカーからの仕入れルート確保により、顧客の多種多様な要望にスピーディーに対応する。
営業活動は行っていない。取引先は先代の頃より続く先がほとんど。仕入先かつ販売先である商社が、ある意味同社の流通・営業を代行しており口コミで広がっている。
- **柔軟な対応**
図面がなくても、イメージや写真などを参考に、顧客の要望にきめ細やかに対応する。

(vi) 今後の展開

- 東海地方を中心とした今までの取引先を維持していく。先代から続く 400 社の既存取引先に寄り添い十分な満足感を与えられるようニーズ・要望を聞き取る。この地域で長年にわたる取引で得た「石井製作所なら何とかしてくれる」との信頼感を重視していく。
- ものづくりの構造変化や製品開発における著しい短期化に伴う顧客の要望に応えるべく、熟練の技術継承に努め設備更新もしっかり行っていく。
- 分散する拠点の集約を行い、同社内コミュニケーションの活性化を図り、従業員の多能工化を推進する。

(3) 経営理念

同社は、「できる限り多くの相手と顔を合わせること」を心掛けてきた。商品が顧客のもとに届くまでには、取引先の経営者や営業担当者だけにとどまらず、運送業者など、多くの人々が存在する。その一人ひとりの顔を見て言葉を交わし、少しでも同社の名前が印象に残るよう努めてきた。その結果、口コミで仕事は広がり、リピートの顧客も多い。

同社は、これからも、一つひとつの仕事、一人ひとりの顧客に真摯に向き合って歩みを進めていくとしており、何事も諦めず、挑戦してみる姿勢を持ち続けたいと考えている。また、「相手を思いやる心」にも重きを置き、顧客やとともに働く仲間、そして家族、同社を取り巻くあらゆる人に対して思いやりの心を忘れず、あたたかみのある関係を築いていくことを考えている。

そのために、同社は以下の理念を掲げて、事業活動に取り組んでいる。

経営理念

応えよう！あらゆる「カタチ」

お客様のほしいに応える「信頼のカタチ」

みんなの思いと共に成長する「会社のカタチ」

技術を紡いでつなげよう「未来のカタチ」

将来ビジョン

わたしたちのありたい「カタチ」

お客様に寄り添い、要望に応え技術を磨き上げ、信頼関係を築き上げることに
より、お客様にとって唯一無二の会社でありたい。

みなさんに寄り添い、共に成長し、人生を豊かにできる会社でありたい。

長年培った技術を継承すると共に、変革や挑戦し続けることによって、将来に
わたって残る会社でありたい。

行動指針

経営理念・将来ビジョンに基づいて、日頃から大切だと思っていることを行動指針としてまとめている。

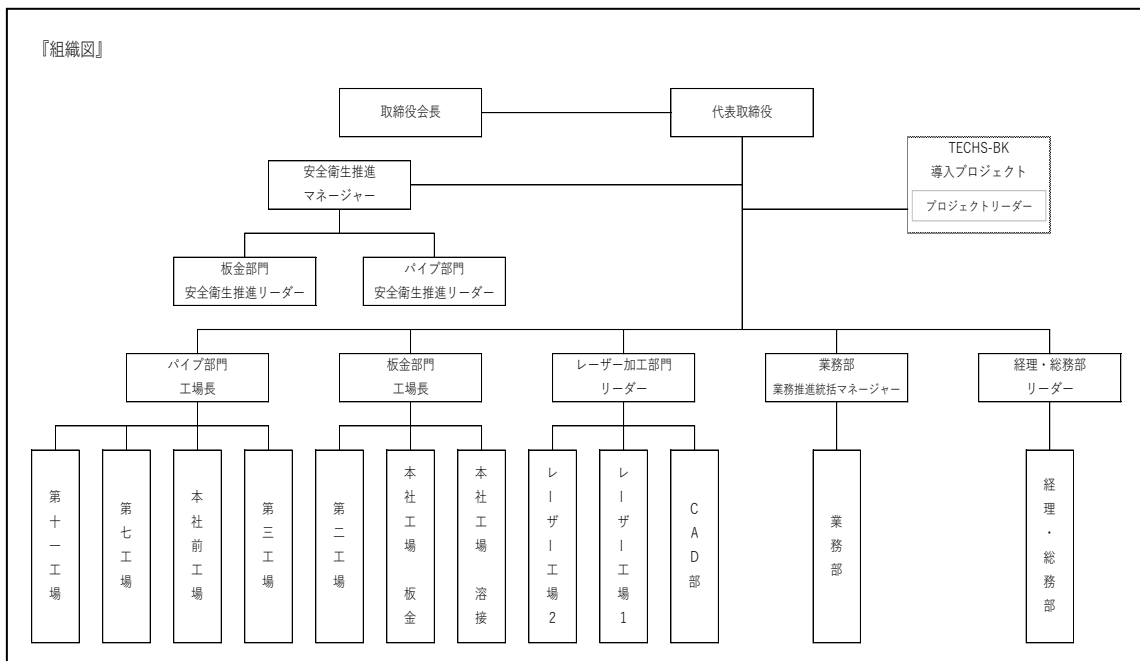
同社には営業担当がないため、現場の一人ひとりの印象が同社のイメージそのものになる。顧客に対して、気持ちの良い案内などができるよう、気遣いを身につけることができるよう心掛けている。

1. お客様への思いやり
 - ・丁寧に接し、お互いに尊重しあえる関係を築き上げる。
 - ・意図を汲み取り、出来る限りニーズに沿ったモノを作る。
2. 社員同士の思いやり
 - ・お互いに尊重しあえる関係を築き上げる。
 - ・お互いに連携し最高の生産性を生み出す。
3. 挑戦し成長し続ける
 - ・高度化・多様化するお客様の要望に挑み続ける。
 - ・ものづくりの構造変化など環境変化に対応する。
 - ・個々の成長を会社への飛躍へと繋げる。

「お客様への思いやり」と「社員同士の思いやり」は通じ合うもの

お客様・社員に関わらず、丁寧に接し、尊重し合える関係を築いていきたいと思っている。丁寧に接していれば、相手からも大切にされるはずであり、こうした一方通行ではない関係性を目指している。お客様には、お客様の意図を汲み取ってニーズに合ったものを提供することで、お互いを認め、頼りにしてもらえるのではないかと考えている。

【組織体制】



(4) サステナビリティ

同社は SDG s 宣言を定め、これを指針として課題に取り組んでいる。

「SDG s 宣言」

品質・サービス

熟練された加工技術と経験により取引先のニーズに応え、提案からアフターフォローまで心を込めた製品を提供することで地域経済の成長に貢献できるよう努めてまいります。

環境対策

環境に優しい経営を目指すために製造工程で発生する廃棄物の削減・再利用を徹底するとともに、地球温暖化対策に積極的に貢献してまいります。

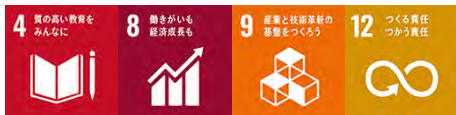
人権・雇用

多様な人材が活躍できるように、職場環境を整備するとともに、従業員のレベルアップを図り、継続勤務可能な働きやすい職場を提供してまいります。

それぞれの重点項目(マテリアリティ)において、具体的には以下のような取り組みを行っている。

① 品質・サービス

- 加工技術の伝承のため、一時的に若い従業員を増やす
従業員の多能工化の推進
若い世代が取り組み易い設備に変えていく
- 柔軟なニーズに対応
顧客に寄り添い、要望に応え技術を磨き上げる



② 環境対策

- LED 照明の導入
7, 8 年前から導入済みだが、一部賃貸部分については未導入
- 製造工程に発生する廃棄物の分別・再利用
切断くず等の産業廃棄物はサイクル業者に依頼
- トラックやフォークリフトの HV、EV 化
- ペーパーレス化 (FAX 受注受付分のプリントアウトとりやめ)



③ 人権・雇用

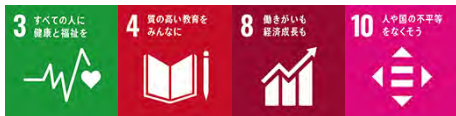
- ・ 人事評価制度導入
- ・ 65 歳以上の勤務を希望する場合の職場環境の提供
- ・ 従業員の資格・免許取得サポート

代表者自ら 3DCAD 技術の従業員向け研修を行っている

(ものづくりワークショップ、希望した 30～40 代従業員 4 名に毎週実施)

- ・ 多様な人材の雇用

国籍・性別を問わない働きやすい勤務体系の整備



<地域貢献についての取り組み> (SDGs 宣言以外)

- ・ 私募債を通じた寄付

近隣中学校への楽器の寄贈、地元小学校への一輪車の寄贈



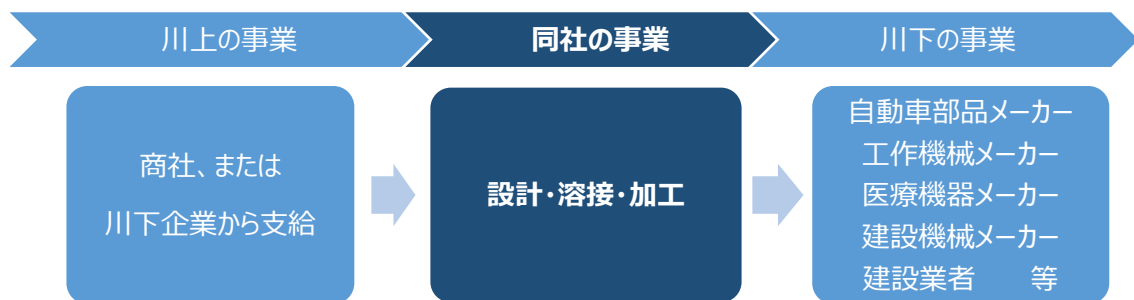
- ・ テレビで流れる 15 秒 CM「24 時間子供 SOS ダイヤル」に提供会社の 1 社として支援



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

- 同社は、鋼管・鋼材の加工を主な事業としている。具体的には「曲げ加工」、「レーザー加工」、「溶接加工」を得意とし、顧客の要望に応じて、オーダーメイド、単品・小ロット、リピート量産品まで幅広く対応する。
- 「鉄」は商社から仕入れ、「ステンレス」は川下企業から支給される。同社が、曲げ加工、レーザー加工、溶接加工を行い、川下企業に納品している。
- 同社が加工した製品は、自動車、工作機械、医療機器、建設機械の部品や、建築金物など、幅広い業種で使用され、地域経済の成長に貢献している。
- 以上を踏まえた同社のバリューチェーンは以下の通りである。



(2) インパクトマッピング

- 大垣共立銀行は、先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。
- 同社の事業を、「金属の処理・塗装・機械加工業（国際標準産業分類 2592）」とする。
- 川上の事業を、「第一次鉄鋼製造業（同 2410）」とする。
- 川下の事業を、「自動車部品及び付属品製造業（同 2930）」、「鋳業、採石業及び建設業用機械製造業（同 2824）」、「自転車及び車椅子製造業（同 3092）」とする。
- 以上の事業について、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト（以下 PI）」と「ネガティブインパクト（以下 NI）」を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

バリューチェーン	川上事業		同社事業		川下事業					
	第一次鉄鋼製造業 (2410)		金属の処理・塗装・ 機械加工業 (2592)		鉱業、採石業及び 建設業用機械製造業 (2824)		自動車部品及び 付属品製造業 (2930)		自転車及び車椅子製造業 (3092)	
インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
水										
食料										
住居	●				●					
健康・衛生		●							●	●
教育										
雇用	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エネルギー										
移動手段							●	●	●●	
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										
正義										
強固な制度・平和・安定										
水（質）		●		●		●		●		●
大気		●		●		●		●		●
土壌		●●				●		●		●
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性		●●		●		●		●●		●
気候		●		●		●		●●		●
廃棄物		●		●		●		●		●
包括的で健全な経済	●		●		●		●		●	
経済収束							●		●	

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す

「●」は影響があるカテゴリを示す

発現したインパクトについて、同社、川下の事業について、カテゴリ毎の対応する SDGs ターゲットを整理する。
川上の事業については、同社が与える影響は限定的であるため、インパクトを特定しない

	カテゴリ	インパクト		取組内容	対応するSDGs
		PI	NI		
同社	社会	雇用	○ ○	業務に必要なスキルの習得サポート、若手社員向けの技術習得サポートを行っている。 外国人労働者が働きやすい職場を整備している。 「寄り添う人事評価制度」を導入し、従業員が成長できる職場環境を整備している。 労災・従業員の健康に配慮した経営を行っている。	8.5 8.8
	環境	大気	○	営業車両のEV・ハイブリッド車への切り替えを実施している。	13.3
		資源効率・安全性	○	作業工程で発生した廃材は金属回収業者に回収してもらっている。	12.5
		気候	○	LEDへの切り替え等、CO2排出量削減に向けた取組を行っていく方針である。	13.3
		廃棄物	○	作業工程で発生した廃材は金属回収業者に回収してもらっている。	12.5
	経済	包括的で健全な経済	○	品質の高い「曲げ加工」技術と最新の設備により、東海地方の様々な製造業の要望に短納期・低価格で応えることができる。	9.1
川下	社会	健康・衛生	○	車止め、ガードレール等の提供により、交通事故防止に貢献している。	3.6
		移動手段	○	品質の高い車いすのハンドリムや自動車用装飾品部品を提供している。	11.2
	経済	包括的で健全な経済	○	品質の高い加工を行った製品を安価で安定供給することで、各業界のバリューチェーンを支えている。	9.1

※インパクトレーダーで発現したインパクトのうち、上記表に不記載のインパクトは、同社の事業と関連性が低いと判断し、評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトを E S G（環境・社会・ガバナンス）毎に特定した。

環境（Environment）

環境に配慮した経営

- 同社は、2022 年に SDGs 宣言を行い、環境に優しい経営を目指している。具体的な取り組みとして、工場、事務所の LED 照明への切り替えを行っている。今後は、CO2 排出量を算定し、営業車両のハイブリッドカーへの切り替え、社内設備の入れ替え等を行い、排出量削減に向けた取組を推進していく。
- このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは、「大気」、「気候」のカテゴリに該当し、環境面の NI を縮小すると考えられる。
- SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
13.3：気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

社会（Social）

品質の高い加工技術の提供を通じたサプライチェーンへの貢献

- 同社は、各種鋼材の曲げ加工、レーザー加工、溶接加工等行っており、1968年の創業以来、お客さまの「欲しい」という気持ちに全力で応えることによって発展し、豊富な実績・ノウハウを蓄積し、業種問わず様々な業界のニーズに応えることができるため、取引先は400先を超える。
- 「曲げ加工」については、熟練工を配置し、機械では対応が難しい加工でも、短時間で対応できる体制を整えている。
- 「レーザー加工」については、最新設備を導入し、切断条件のバリエーションも広がり、製品の用途や顧客の求める品質レベルに応じて臨機応変に設定が可能。品質・生産性が一段と向上した。
- 「溶接加工」については、部材の鉄やステンレス、アルミニウムなどによっても必要な溶接技術が違い、精度の高い精密板金加工品には高い溶接技術が必要となるため、熟練工を配置して対応している。
- 今後も積極的な設備更新、従業員の多能工化、拠点の集約等を実施し、既存顧客・受注だけでなく、新たなニーズにも応えていく方針である。
- このインパクトはUNEP FIのインパクトリーダーでは、「包括的で健全な経済」のカテゴリに該当し、経済面のPIを拡大すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。
9.1：全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。

働きがいのある職場環境の構築

- 同社は従業員一人ひとりの意識や目標を明確化し、それぞれの技術や人間力の成長によって、従業員がより一致団結してお客さまの気持ちに寄り添うことで、サービスや品質の向上を実現するため、“寄り添う評価制度”を導入している。
- 従業員向け教育に関しては、業務上必要な資格取得に関する支援や、社長自らが講師となり3DCAD技術取得を支援している。また、熟練工から若手従業員へ技術を伝承するための仕組みづくりや、多能工化、拠点集約によるコミュニケーションの活性化等を検討している。これら従業員の成長を促進するため、育成・指導の見地からも適切に評価がされるような新たな人事評価制度も検討していく。
- ダイバーシティに関しては、外国人労働者が9名在籍しており、始業前に必ず本社で従業員一同が顔を合わせる等をしてコミュニケーションを促している。今後は作業工程のマニュアル化・多言語化等を検討し、より働きやすい環境を整備していく。
- 福利厚生に関しては、時間外労働が業務内容によって差があるため、従業員の多能工化、積極的な人材採用により解決していく方針である。
- このインパクトはUNEP FIのインパクトリーダーでは、「雇用」のカテゴリに該当し、社会面のPIを拡大すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.5：2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

企業統治（Governance）

安心・安全な職場環境の構築

- 同社は、熟練工が若手従業員をサポートすることで、大きな労働災害は発生していないが、熟練工の定年退職、若手従業員や外国人材の増加を見据え、作業のオートメーション化や業務マニュアルの整備等を行っていく。また、朝礼や会議などにおいて、労働災害等防止に向けた研修等を実施し、安全な職場環境を構築していく。なお、直近15年間、重大な労働事故は発生していない。
- 過去の経験を踏まえ、南海トラフ地震や豪雨等の災害に対し、従業員の安全確保と事業継続への備えを強化し、BCPの策定をする方針である。
- また、従業員が健康で安心・安全に働ける環境を提供するため、健康経営優良法人の認定取得も検討している。
- このインパクトはUNEP FIのインパクトレーダーでは、「雇用」のカテゴリに該当し、社会面のPIを拡大するとともに、社会面のNIを縮小すると考えられる。
- SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

8.8：移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

①国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」、「9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」に対して、国内における SDGs ダッシュボードでは、「13」において、大きな課題が残る、「8」において、課題が残るまたは重要な課題が残るとなっており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



②愛知県におけるインパクトニーズ

- 同社は、売上げの大半が愛知県であることから、愛知県における「SDGs 未来都市計画」を参照し、愛知県における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

愛知県 SDGs 未来都市計画 – SDGs の推進に資する取組（抜粋） –
○<u>中小企業の持続的発展に向けた支援</u> 「100 年に一度の変革期」に直面している自動車関連の中小企業や、デジタル化の進展により大きく変化する産業構造の中にある中小企業が持続的に発展していくため、新事業展開やデジタル技術活用の支援を行う。 ○<u>若者・女性・外国人の活躍促進</u> 若者が社会で活躍できるよう、企業における若者の就労や職場定着の取組を支援する。 経営者の意識改革やワーク・ライフ・バランスの推進、保育サービスの充実、女性の企業や再就職支援など、働く場における女性の活躍を促進する。 ○<u>「あいち地球温暖化防止戦略 2030」の推進</u> 地球温暖化防止に関する取組を総合的かつ計画的に推進する。

③大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性

- 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- 同社の特定したインパクトは以下の通り、大垣共立銀行の重要課題（マテリアリティ）と方向性が一致する。

同社の特定したインパクト	大垣共立銀行の重要課題（マテリアリティ）
環境に配慮した経営	気候変動対応、環境保全
品質の高い加工技術の提供を通じた サプライチェーンへの貢献	地域経済の持続的成長
働きがいのある職場環境の構築 安心・安全な職場環境の構築	多様な人材の活躍推進

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の緩和・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する

環境に配慮した経営

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「大気」「気候」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・製造ラインの設備更新や LED 導入、トラックやフォークリフトの環境対応車導入等により、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを推進する
KPI	・2025 年度までに温室効果ガス排出量の算定を開始、削減計画を策定し、以降削減を進める ・自社保有の自動車・フォークリフトについて、2029 年度までに環境対応車（EV・HV 等）を 6 台導入する （2023 年度実績：保有台数 11 台＜軽自動車 3 台、2 トントラック 3 台、フォークリフト 5 台＞、うち環境対応車 0 台）

品質の高い加工技術の提供を通じたサプライチェーンへの貢献

項目	内容
インパクトの種類	経済的側面において PI を拡大
カテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・多種多様・高度化する顧客ニーズに対応すべく、最新設備の導入や熟練技術の伝承、従業員の多能工化等を進める ・当社が受注できる製品・工程を増やし、取引先商社を通じて自動車、コンピューター機器、医療機器、建設など幅広いサプライチェーンの構築・拡大に貢献していく
KPI	・2028 年度までに売上高を 8 億円以上に拡大する （2023 年度実績：6.7 億円）

安心・安全で働きがいのある職場環境の構築

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI を拡大 社会的側面において NI を縮小
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・加工技術等をより多くの、より若い世代へ積極的に伝承することで一層社内が活性化するよう、制度・仕組みづくりを行う ・南海トラフ地震や豪雨水害等を想定した BCP 体制を確立する ・健康経営の推進により、心身ともに安心・安全に働ける職場環境を構築する
KPI	・2026 年度までに技術伝承・人材育成への取組みが人事査定・昇給等に反映される新たな人事評価制度を策定する（人材育成に関する 2027 年度以降の目標は改めて設定する） ・2026 年度までに BCP を策定し、毎年 1 回以上従業員に向けた BCP に関する訓練や研修を行う ・2026 年度までに健康経営優良法人を取得し、以降毎年継続する

4. モニタリング

(1) 有限会社石井製作所におけるインパクトの管理体制

- 同社では、石井社長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。
- 今後については、本件にかかる責任者を石井社長とし、SDGs の推進、並びに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行とOKB総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、およびOKB総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行およびOKB総研がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利はOKB総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。